

運転士が列車乗務中に眠気をもよおして運転をしていたことについて

京浜急行電鉄株式会社（本社：横浜市西区 社長：原田 一之）では、運転士が列車の乗務中に眠気をもよおして運転をしていたことが下記のとおり判明いたしました。

多くのお客さまに、大変ご心配、ご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

当社では、今回の事態を厳粛に受け止め、全乗務員に対する指導・教育を徹底し、再発防止に取り組んでまいります。

記

1. 概要

2021年8月22日（日）の列車乗務中に当社運転士（29歳0か月 男性）が居眠り運転をしているのではないかと、お客さまからご指摘をいただきました。事実確認をしたところ、下記の列車・区間において眠気をもよおして運転をしていたことが判明いたしました。

なお、このことに起因する列車の遅延や運行トラブルはございませんでした。

また、ご乗車のお客さまにお怪我等もございませんでした。

2. 当該列車・区間

当該列車：快特 青砥行 8両編成（始発 三崎口 14:06 発）

眠気をもよおして運転した区間：上り線 品川～立会川駅間（2回）

3. 乗車人員

約600人

4. 原因

運転士が一時的に眠気をもよおしたため。

5. 再発防止策

全乗務員を対象にあらためて社内周知を図るとともに、健康・体調管理について指導再徹底に努めます。

以上